

I 実践

1 研究主題

自他を大切にし、互いに認め合い助け合っていこうとする人権教育のあり方
 ——— 「マナーアップ運動」の活動を通して ———

(1) 主題設定の理由

本校ではマナーアップ運動として、あいさつや運動やいじめ撲滅運動、通学路クリーンアップ運動などの取り組みが、さわやかマナーアップ週間の中で実践されてきている。どの運動にも児童、教職員とも一生懸命に取り組む姿が見られるが、あいさつなどは、校内ではよくできているが、地域の中ではまだまだ十分とはいえないという意見が保護者などから上がっている。

11月の「学校生活を楽しくするためのアンケート」では、1学期とくらべて全体的にプラスの回答の割合が増加したものの、友達の項目でやや割合が低く、人間関係づくりについて課題が見られた。児童同士で友達を傷付けることを言う場面も見られ、言語環境を整える必要性も感じた。そこで、マナーアップ月間の中で、よりよい人間関係づくりに取り組むとともに、人権を大切にする雰囲気醸成する取り組みが必要と感じ本主題を設定した。

(2) 研究内容

- ア 学校生活を楽しくするためのアンケート
- イ 週のめあての工夫
- ウ 図書室の人権図書コーナー

2 実践内容

(1) 学校生活を楽しくするアンケート

マナーアップ月間に入り、児童の実態を把握するため「学校生活を楽しくするためのアンケート」を行った。1学期と同じアンケートを行い比較することで、課題を明確にし、取り組みに生かせるようにした。低学年についてはふりがなを付けたものを使用し、教師が適宜解説を加えながら実施した。

アンケートの結果から、支援が必要な児童への対応にすぐに当たり、学校全体として共通理解を図り指導に当たらなければならない内容などにもクラスや学年の枠を超え、細かに取り組んできている。多くの目で、いろいろな角度から見つめ支援することで子供達にも、相手のことを考え、どのように行動すべきか気付かせ、具体的な態度や行動ができるよう支援している。

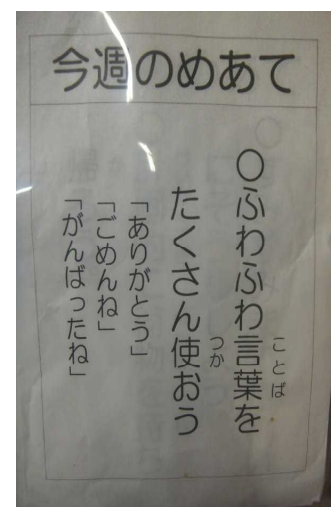
(2) 週のめあての工夫

本校では週目標を設定し、毎週月曜日に「今週のめあて」として、各クラスに配られている。月の教育目標や児童の実態などを踏まえて、看護当番の先生方が話し合いで内容を決めている。人権にかかわる内容もいくつか取り上げられてきたが、具体的に分かりやすく「ふわふわ言葉をたくさん使おう」「ありがとう」「ごめんね」「がんばったね」を提示した。

児童が週目標を意識しながら1日を過ごせるよう、お昼の放送でも呼びかけてもらうなど、子供達の力もかりた。また、チクチクをなくして、ふわふわになれる言葉について学級でも話し合ってもらったりなど、学年学級の実態に応じて提示するふわふわ言葉を考えてもらった。

看護日誌から

- ・言われるとうれしい言葉を使い、思いやりのある人間関係をつくるために昼の放送等でも呼びかけて取り組んでいた。
- ・教師自ら、ふわふわ言葉の手本を示したい。
- ・6年生では、体育の授業のなかでサッカーのゴールを決め



2週間続いためあて

たときに賞賛する声かけなどが聞こえていた。指導を続け人の気持ちがわかる児童を育てたい。

どんな言葉を友達から言われたらうれしくなるか、つらくなるか考えることができるようにし、自分が言われてつらくなる言葉はきっと友達もつらく、逆にうれしくなる言葉はきっと友達もうれしいことをしっかりとつかませ、「ふわふわ言葉」を使っていくことができるようにしたい。



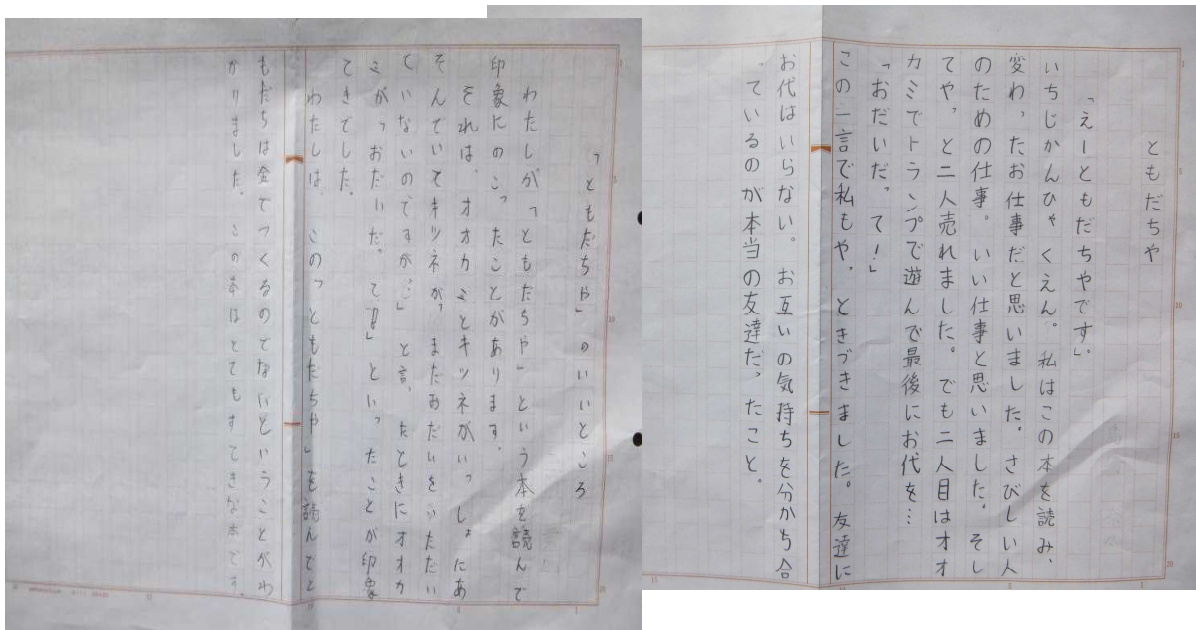
1年生の取り組み

(3) 図書室の人権図書コーナーの設置

マナーアップ運動期間中に、学校司書と連携して、人権にふさわしい内容の本を選び、図書室の一角に人権図書コーナーを設けた。

手に取って読む児童は少なかったが、人を思いやる大切さや、友達とのコミュニケーションの取り方などについて学べるような物も多くあり今後も試みていきたい。

一部の児童が自ら読んだ本の感想をよせてくれた。



3 成果

人権に関する体験を通して、自分がうれしいことは相手もうれしいことであり、自分がいやなことは相手もいやなことであることが確認でき、児童は友達との人間関係について改めて考えたり、学級の友達との一体感、連帯感を感じたりすることができたと思われる。具体的に教師も児童も自他のよさを認め合う重要性に気付くことができた。自ら一人の人間として大切さが認められていることを実感できる状況を生み出すこともできた。自分や他の人を尊重しようとする感覚も育ってきている。

II 今後の課題

「人権教育で何をしようか」と考えると、取り組みが児童の実態に合わず、効果が上がらないこともある。学校生活アンケートなどの結果を活用し、児童の実態を把握することで、人権教育の取り組みの方向性を明確にし、年間の人権教育の取り組みとマナーアップ運動との関連を図り、効果があがるよう工夫を重ねていきたい。